

「令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第4回）」議事概要

I 日 時

令和6年12月2日（月）13：30～15：30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構14階会議室21～22

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和6年12月から令和7年3月かけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について

② 令和6年8月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

（2）その他

V 議事内容

（1）① 令和6年12月から令和7年3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和6年8月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
・社用携帯電話端末（スマホ）購入及び通信サービス提供業務の変更契約について、今後さらに端末機器の追加調達をすることになった場合、当たり前のように随意契約にならないようにしていただきたい。	・将来の調達も適切なものとすることを念頭に置き、スマートフォンの追加の可否を含めた業務における電話のあり方を組織として検討してまいりたい。特に携帯電話の契約では、別キャリアに乗り換える場合に機材を継続利用することもできるため、競争性と費用のバランスを見ながら調達仕様の検討も行いたい。 ※ 台数については未確定

(2) その他について

令和6年12月～令和7年3月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上